

梅雨の中休み、日差しを浴びて揺れるナミモロコシの穂―20日午後、南城市玉城奥武島



トーナチン揺れ

きょう小満

21日は二十四節気の一つ「小満」。秋にまいした麦などの穂が付き、農家が「安心するころ」といわれる。梅雨の中休みとなった20日の沖縄本島地方。久々に太陽が顔をみせ、時折青空が広がった。



南城市玉城の奥武島ではナミモロコシ(イネ科)の穂に、鳥よ

けのネットがかぶせられ、陽光を浴びて気持ちよさそうに風に揺れていた。ナミモロコシはウチナーグチで「トーナチン」と呼ばれ、主にナントウ(餅菓子)に使われる。実が赤く色づく6月下旬ころに収穫されるといづ。

